



2020年01月27日 月曜日

竹 新聞

国内唯一の越前竹人形づくり体験

福井というと、皆さんが知っているように、恐竜博物館、東尋坊などのスポットが有名である。外国人の私たちにとって、このような観光スポット以外にも、楽しみに記念品となるものを作りたいと思っている。福井県に来る旅行者もそうだろうと思う。竹人形はその良い選択肢の一つである。

ネズミの作り方

まずは、頭を持って目をくつつくところに接着剤を塗って目を入れる。同じ方法で鼻、耳、ひげを順番に頭の上で接着する。次は体と尾を板に下の写真通り並べて接着する。最後はネズミの鈴と頭と体に接着してスタッフに渡して15分ほど加熱して接着剤が固くなると完成する。



説明・十二支のネズミ
撮影者：ZHAO YANXIA

雪ん子の作り方

まず髪飾りに接着剤をつける。その後、頭の上部に付く。その次に、胴の上部に接着剤を塗って頭部と連結する。次に、スコップを雪ん子の前に立てる。好きな所に接着剤を少しずつ塗った後、塩の結晶を利用して雪が降ったような状況を演出する。最後に、職員に作品を渡して15分間加熱する。すると接着剤が固くなって丈夫になり、作品が完成する。



雪ん子の見本と自分の雪ん子
撮影者：KIM CHANUK

越前竹人形の里とは

昭和59年(1984年)に開館し、「国内唯一」という特徴で、自分で越前竹人形が作られる場所である。越前竹人形は、越前地方で竹を使って作った人形で福井県の郷土工芸品に指定されている。竹割りから組み立てまで、工房内の職人が日々作っている。竹人形を完成した後販売することである。様々な竹人形の展示があり、深く越前竹人形の世界を楽しむことができる。

毎週の水曜日は定休日である。季節によって、営業時間が異なるので、注意してほしい。越前竹人形の里にある「創作竹人形館」の入場料大人300円で、15歳以下は150円である。そして、竹人形作り体験は竹人形の種類によって違い、竹とんぼ500円、雪ん子1300円、ペン立て1400円、十二支(干支一つ選択)1400円、おやゆび雛2000円である。ところで、全国ではここでしかできない竹人形作り体験という経験についてこれから紹介していく。

竹で作った髪

越前竹人形の里へ行くと、竹人形作りが体験できるだけでなく、越前竹人形館で特別な人形も見られる。色々な特別な人形もあって、例えば、師田黎明作「笹鳴り」である。竹の自然の形を生かした造形と竹を細く割いて作られた7000本の髪の精緻な技術に圧倒されます。特別、竹髪は越前竹人形の特徴の一つです。それだけでなく、越前竹人形も3年以上寝かせた国産天然竹と竹を隙間なく重ねる胴詰め法の特徴がある。



説明・笹鳴り
撮影者：YEN LINH

越前竹人形にある福

井

多くの人は福井を代表するものとして恐竜とメガネを思い浮かべる。あるいは、永平寺と越前そばのことを話す。しかし、外国人や福井県外の日本人、福井県が故郷である福井の大学生たちも「越前竹人形」が福井を代表する名物であることを知らない。1981年福井県に住んでいる職人たちが越前竹人形協同組合を設立し、1986年に越前竹人形の里を開設した。名物と呼ばれるものに比べて歴史が短く、日本人にもあまり知られていないようだ。越前竹人形の里の創作竹人形館では越前の竹で作った様々な作品が鑑賞できる。ここでは福井を代表する恐竜と永平寺の僧侶たちをモデルにした竹人形を見ることが出来る。まるで福井が越前竹人形にあると考えられるのだ。単に竹人形を作れる所は日本国内にもある。福井を表現でき、良質な真竹と盲従竹で竹人形を作るのはここしか

私達は国内唯一の越前竹人形づくり体験を経験した。福井県にはお寺や温泉など、たくさんの観光スポットがある。越前そばや水羊羹などは他のところで食べられるが、越前竹人形の作り体験はここにしか体験できないことである。越前竹人形の里では作る体験だけではなく、竹で作られた様々な作品を買える。しかも、竹味のアイスクリームもここでしか食べられない。皆さんも帰国する前にここでしかできない体験をぜひ、やってみてください

教育学部 SO HOUIAN

国際地域学部 KIM CHANUK

国際地域学部 ZHAO YANXIA

国際地域学部 TRAN NU YEN LINH